



消防大学校だより



小倉総務大臣政務官消防大学校視察

平成29年12月1日、小倉総務大臣政務官が消防大学校を視察しました。

消防大学校の業務概要説明の後、小倉総務大臣政務官は屋外訓練場に向かいました。ここで、入校中の警防科及び火災調査科の学生（108名）に対し、「消防大学校における訓練を通じて、より一層教養を磨き、そして地域に戻り活躍することを心から期待しています。私自身も、皆さんがそれぞれの地域において第一線で活躍し、一人でも多くの市民・住民を様々な災害から守っていただけるよう、各地域の消防本部における教育や訓練内容の充実に、一生懸命取り組んでまいります。」と激励しました

その後、警防科学生の加圧排煙戦術訓練を熱心に見学しました。

加圧排煙戦術は、火災室内に向けて強制的に空気を送り、火災室を陽圧にすることで生まれる外部との気圧差を利用し、内部の濃煙・熱気を強制的に排出する消火戦術で、訓練はさいたま市消防局浦和消防署特別高度救助隊の協力により実施されました。



消防大学校の概要説明



加圧排煙戦術訓練の見学

また、消防大学校の実戦的な訓練施設である「実火災体験型訓練施設(ホットトレーニング用施設)」等の屋外訓練施設を視察しました。



実火災体験型訓練施設の視察



警防科及び火災調査科の学生に激励を行う
小倉総務大臣政務官（左側）

問合わせ先

消防庁消防大学校庶務課
TEL: 0422-46-1711

平成29年度 消防大学校フォーラム及び特別講習会

消防大学校では、より多くの消防幹部・幹部候補者に対する講義受講機会の充実を図ることを目的とし、年4回にわたり消防大学校フォーラム及び特別講習会を開催しております。2019年にラグビーワールドカップ、2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることに伴い、このような大規模イベント開催を控えた対応を強化するため、平成28年度から、大規模イベント開催予定地にて4か年にわたり災害対応能力の向上及び多数傷病者対応能力の向上を主眼とした講義で構成して開催しております。

今年度は北海道会場、兵庫県会場、埼玉県会場、福岡県会場の4か所で実施しました。

また、今年度消防大学校フォーラムの第二部では、女性消防吏員の活躍推進と題し、パネリスト4名を招きディスカッションしていただきました。

平成29年度は、4会場で793名の消防職員が受講し、受講者からは、「NBC、爆弾テロ等の災害時、消防活動の重要点についてとても勉強になった。」、「多数傷病者事故対応についてもトリアージ方法等の「助かる命を助ける」選別方法の難しさを学びました。」、「講師の経験を踏まえた「安全管理」の内容が心に響きました。今後、少しずつでも意識を変えていきたいと思います。」等のほか、今後も定期的に開催してほしいとの感想が多数ありました。消防大学校では、今後も時代の流れに合わせた講義内容を提供していく予定です。

(参考) 平成30年度 特別講習会開催予定場所
東京都、愛知県、大阪府、大分県

1 平成29年度 特別講習会 開催日及び開催場所

開催日	開催場所	受講者数
平成29年 6月23日	北海道会場 (札幌市生涯学習センター)	158人
平成29年10月27日	兵庫県会場 (神戸市商工会議所)	257人
平成29年11月17日	埼玉県会場 (さいたま市プラザノース)	198人
平成29年11月30日	福岡県会場 (福岡ビル大ホール)	180人
合 計		793人

※福岡県会場は、災害の影響により7月から11月に変更となりました。

2 講義内容

(1) 福岡県会場 (消防大学校フォーラム)

講義内容 9:00～17:30		講 師
開 会 式		
第一部 9:10～14:15	NBC・爆弾テロ災害対応	消防大学校 教務部助教授
	多数傷病者事故対応	
第二部 14:45～17:25	職員の受傷事故事例	消防大学校 教務部教授
	女性消防吏員の活躍推進	消防大学校助教授他 パネリスト4名
閉 会 式		

(2) 福岡県会場以外

講義内容 9:00～17:00	講 師
NBC・爆弾テロ災害対応	消防大学校 教務部助教授
多数傷病者事故対応	〃
職員の受傷事故事例	消防大学校 教務部教授

問い合わせ先

消防大学校教務部 西村
TEL: 0422-46-1714